

第3回 北大阪急行線延伸技術検討会 議事要旨

1. 日時

平成26年11月12日(水) 15時00分～17時00分

2. 場所

大阪弥生会館 2階 伊吹(大阪市北区芝田2-4-53)

3. 出席者

(座長)

一般財団法人地域地盤環境研究所 代表理事 足立 紀尚

(構成員)

一般財団法人災害科学研究所 理事長 松井 保

京都大学大学院理学研究科教授 竹村 恵二

京都大学防災研究所教授 澤田 純男

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構 鉄道建設本部大阪支社長 深沢 成年

大阪市交通局理事兼鉄道事業本部長 塩谷 智弘

(オブザーバー)

大阪府都市整備部交通道路室都市交通課長 吉備 敏裕

(代理出席：大阪府都市整備部交通道路室参事 松江 琢也)

大阪府池田土木事務所長 武友 憲重

(代理出席：大阪府池田土木事務所地域防災監兼地域支援・企画課長 野添 淳一)

箕面市地域創造部専任理事(鉄道整備担当) 仲井 信雄

阪急電鉄株式会社都市交通事業本部都市交通計画部部長 庄 健介

北大阪急行電鉄株式会社常務取締役延伸準備室長 神谷 昌平

(欠席)

京都大学大学院工学研究科教授 木村 亮

以上、構成員7名うち1名欠席

4. 議 事

(1) 開催要領の改正について

○開催要領の改正案を了承。

主な改正点は、京都大学防災研究所澤田教授の参画。

(2) 追加地盤調査結果を踏まえた延伸事業区間の地盤構成について

○第2回検討会において今後の課題とされた項目については、今回の追加調査で、概略設計に取りかけられる程度に地盤状況が把握できたと考えられるが、以下の点に対する追加検討の必要が指摘された。

○図 2-3-2(1)の地質縦断図(1) (資料 2-1 : 7 頁) について、北側の神戸層群の大阪層群との境界近傍の表現を精査するのが望ましい。

○図 2-3-1 の調査位置図及び地質縦断図 (資料 2-1 : 6 頁) について、工学的基盤面の考え方に関して構成員にご指導いただくこと。

○図 2-1-2 の地形判読図 (資料 2-1 : 2 頁) には、活断層と地質構造線と一緒に図示されているが、意味が異なるので活断層と地質構造線図は区別しておくこと。

○図 2-4-2 の堆積環境調査結果地質縦断図 (資料 2-1 : 17 頁) において、一部の堆積環境調査結果の再精査が望ましい。

(3) 北大阪急行線延伸事業に関する地盤条件を考慮した設計上の配慮について

1. 野畑断層の推定位置と構造計画について

○長大スパンで想定断層位置をまたぐ方針については、おおむね妥当と考えられるが、断層が想定位置にない場合や (断層は縦ズレが支配的であるが、) 横ズレも考慮して、十分な落橋防止対策工を設計に盛り込むこと。

2. 小野原断層の推定位置と構造計画について

○内空断面に余裕を持たせるとともに縦断方向の剛性を上げる構造計画を早期復旧及び維持管理面から採用することは理解できるが、地盤と構造物の相互作用解析を実施し、設計の妥当性を検証すること。

3. (仮称) 新箕面駅付近の地盤状況と構造計画 (杭の考え方) について

○新箕面駅部分の構造計画 (杭形式) については、不完全支持杭 (薄層支持杭) は杭径の精査を、摩擦杭は沈下予測やフーチングの支持力を検討するなど、検討の深度化を図り、適切な杭形式を選定すること。

(4) 鉄道構造物の今後の設計方法について

○鉄道構造物の今後の設計方法については、資料-4 のフローにしたがって設計を進めることで良い。

(5) その他

○事務連絡

以 上